

2020年度 放射線技術科新人技師の業務習得プログラム（〇〇〇〇 技師）

担当者：△△△△技師

- 目標： ①実務業務を確実に円滑に習得できるようにする。
 ②2020年度内の夜間業務開始を目標にする。
 ③チームの一員となり、放射線技術科業務全般を知る。

1. 新人技師業務習得プログラム詳細

	業務場所	新人	スタッフ
4月	CT	先輩技師と業務し、患者への接遇やCTの基礎知識を学ぶ。造影検査時の注意点や副作用発生時の対応について理解する。	技師としての心構えや医療安全、感染対策についても指導する。 患者誤認対策について指導する。
5月	CT	CT検査の基礎知識を学ぶ。造影検査時の注意点や副作用発生時の対応について理解する。	CT装置の基礎的な知識及び造影理論について指導する。造影検査時の注意点や副作用発生時の対応について指導する。
6月	一般撮影 ポータブル	ポータブル撮影時の注意点や運用について学ぶ。体幹部撮影を習得する。また口腔外科領域の撮影を習得する。	救急患者や入院患者対応時の注意点について指導する。 放射線科受付業務について指導する。
7月	クリニック	主に一般撮影に従事する。DEXAや画像取り込み、画像出力の方法も習得する。	撮影画像は転送前に確認を行う。 不慣れな一般撮影項目についてピックアップし指導する。
8月	MRI	MRI検査の特性を理解し安全に撮影を行えるよう留意する。急性期脳梗塞疑い患者のstroke撮影を習得する。	当院での安全チェック機構に基づきMRIの安全性について指導する。 撮影技術について指導する。
9月	透視	透視装置の基本的な操作方法及び透視業務の運用について学ぶ。タイムアウトの重要性について理解する。	検査・手技内容や各物品について透視業務の基礎を指導する。 清潔野について指導する。
10月	CT	検査目的を理解して検査を行う。撮影方法、プロトコルについて理解を深め、最適化を図る。	緊急所見について指導する。 画像処理教育を行う。VR、MPR作成について指導する。
11月	CT	習得不十分な項目について理解を深める。必要な緊急造影検査のプロトコルを理解し1人で撮影できるよう従事する。	緊急検査の注意点について改めて指導する。複数検査が重なった場合のトリアーシング方法について指導する。
12月	透視	医師及び看護師等他職種と適切なコミュニケーションを図り、円滑に業務を行う。習得不十分な検査に重点的に従事する。	透視業務のマネジメントを行う上でのポイントを指導する。 医療安全について再認識させる。
1月	クリニック	一般撮影及びCTを復習し定着を目指す。自身の撮影した画像の検像を行い、撮影技術の向上を図る。	検像の重要性について指導する。 スループットの向上を図り、適切なアドバイスを行う。
2月	調整	夜間業務を行う上で自身が習得不十分な項目のピックアップを行い、積極的に従事し習得する。	習得不十分な項目を習得するために必要な業務の調整を行う。
3月	調整	夜間業務を行う上で自身が習得不十分な項目のピックアップを行い、積極的に従事し習得する。	習得不十分な項目を習得するために必要な業務の調整を行う。